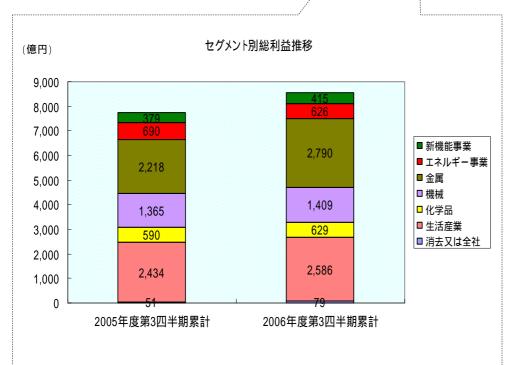
# 2006年度第3四半期 決算公表参考資料

2007年1月31日

三菱商事株式会社

## 主要PL項目の前年同期比増減(9ヶ月)

(億円)	2005年度 第3四半期累計	2006年度 第3四半期累計		増減	増加率	2006年度 通期見通し	達成率
売上高	139,294		153,034	13,740	10%	200,000	77%
売上総利益	7,727	1	8,534	807	10%	11,500	74%
営業利益	2,558		3,066	508	20%	3,900	79%
当期純利益	2,800		3,492	692	25%	4,000	87%
基礎収益	3,889		5,061	1,172	30%	6,200	82%



#### 過去のトラックレコード (第3四半期累計ベース)

四半期決算を開始した 2000年度以降が比較対象

売上高・・・過去最高

(従来の最高は前年同期の13.9兆円)

売上総利益・・・過去最高益

(従来の最高益は前年同期の7,727億円)

営業利益・・・過去最高益

(従来の最高益は前年同期の2,558億円)

当期純利益…過去最高益

(従来の最高益は前年同期の2,800億円)

基礎収益・・・過去最高益

(従来の最高益は前年同期の3,889億円)

(億円)	2005年度第3四半期 (2005年10月~12月)	2006年度第3四半期 (2006年10月~12月)	増減		増加率
売上高	49,157	54,677		5,520	11%
売上総利益	2,689	2,875	1	186	7%
営業利益	917	1,016	2	99	11%
当期純利益	1,017	1,144	3	127	12%
基礎収益	1,404	1,778	4	374	27%

#### (総利益の前年同期比増減)

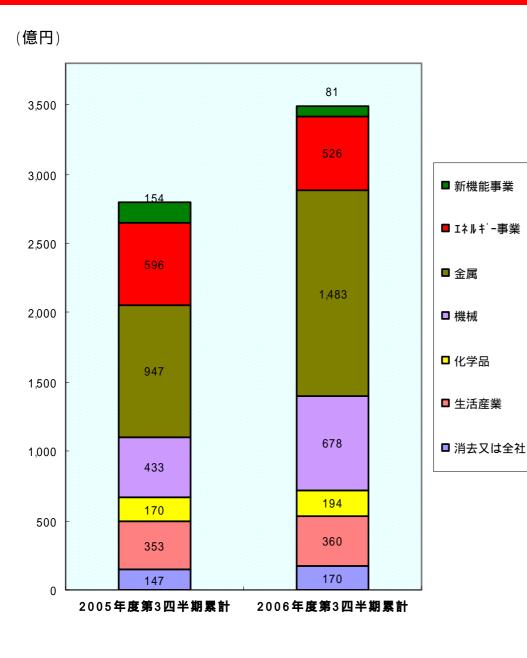
国内取引堅調によるメタルワンの利益増加や、食料関連の取引好調による増加、また、新規連結による影響もあり、総利益は前年同期比186億円(7%)の増益となった。

- (営業利益の前年同期比増減)
  - 総利益の増加があったが、新規連結による総利益の増加見合いに販売費及び一般管理費(88億円負担増)も増加した。 この結果、営業利益は前年同期比99億円(11%)の増益となった。
- (当期純利益の前年同期比増減)

営業利益(+99億円)の増加に加え、銅事業等からの受取配当金(+226億円)の増加、株式売却益による有価証券損益(+166億円)の増加、及び資源関連を中心とした持分法損益(+80億円)の増加により、当期純利益は前年同期比127億円(12%)の増益となった。

(基礎収益の前年同期比増減)

営業利益の増加に加え、受取配当金、持分法損益が増加したことから、基礎収益は前年同期比374億円(27%)の増加となった。



# セグメント別 増減理由

新機能事業(47%減益)・・・金融子会社の為替評価損益、及び投資関連収益の減少

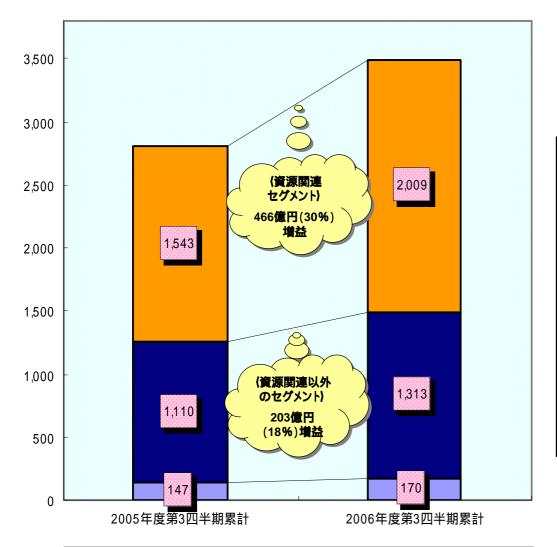
エネルギー事業(12%減益)・・・プロジェクト進捗 に伴う開発費用増、前年度の一過性の配当や 権益売却益の反動減、及び国内石油事業不振 による減

金属(57%増益)・・・販売価格上昇による豪州 資源関連子会社の利益増、市況上昇による海外 資源関連投資先の持分利益増及び受取配当金 増、メタルワン業績堅調による利益増

機械(57%増益)・・・ダイヤモンドシティ株式及び いすゞ自動車株式売却益による増加

化学品(14%増益)・・・親会社における取引好調による増加や海外関連会社の持分利益増など

生活産業(2%増益)・・・食料関連子会社での 新規設備投資に伴う費用増等を親会社での食料 関連取引好調でカバー (億円)



### <u>資源価格の推移(9ヶ月平均)</u>

	2005年度 第3四半期	2006年度 第3四半期	増減	通期見通しの前提
油価(\$/BBL) (ドバイ)	52.0	62.7	10.7	63.7
銅地金( \$ /MT)	3,816	7,316	3,500	7,027
<b>アル</b> ミ地金(\$/MT)	1,898	2,620	722	2,484

■ 消去又は全社
■ 新機能事業・機械・化学品・生活産業
■ Iネルキー事業・金属

